

芝用土壌浸透剤

アースケア[®]

潤いよ、
届け

 株式会社 理研グリーン

® は商標登録

土壤環境を整え、ドライスポット、乾燥害、湿害などからターフを守る

芝用土壤浸透剤

アースケア[®]

新発想

「ハイブリッド・ソイル・コンディショナー」

「アースケア」は、異なる特徴を持つ界面活性剤をハイブリッド（配合）させることによって、土壤水分を適切にコントロールする画期的な土壤浸透剤です。

ハイブリッドさせた成分が浸透力の向上と保水力の維持という相反する効果を両立し相乗効果を上げるため、撥水性の高い土壤にも素早く浸透し、長期間撥水性を抑え、適度な水分を保持します。

ハイブリッド作用による相乗効果イメージ



ターフの健康は、**土壤環境** から…

根は、植物が生育するために欠かせない水と栄養素を吸収する役目を持っています。ターフを健康に維持するには、まず、根を健康に維持することが重要であり、そのために土壤環境（水分）を整えることは必要不可欠であるといえます。

乾き過ぎない

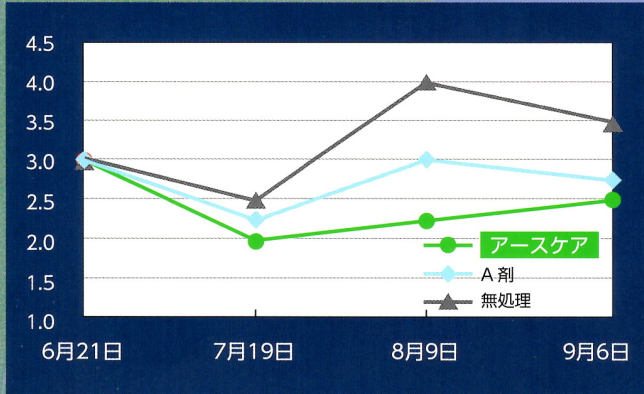
濡れ過ぎない

ターフを健康に維持



確実な浸透、長期残効

浸透力が強い為、撥水性が強い土壌にも確実に浸透し、土壌中にしっかりと吸着・保持されます。その為、撥水性の上昇を長期間防ぐことが可能になりました。



＜撥水性 (MED 値) の推移＞

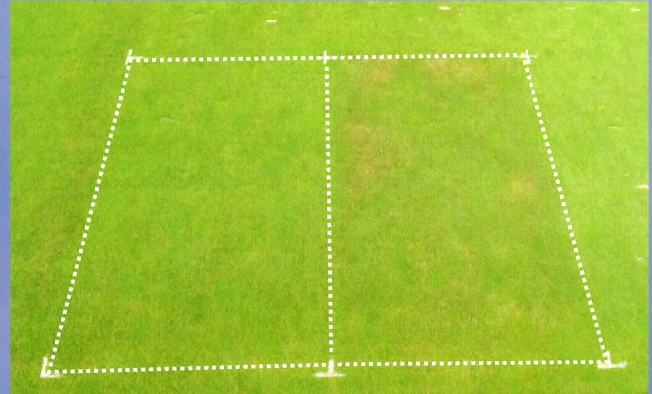
試験場所：静岡県 A ゴルフ場
 処理日：2012年 6/21、7/19、8/9
 施用量：2ml/㎡、散布水量 1ℓ/㎡
 試験規模：4㎡ 2反復



適度な水分保持

土壌表面の過剰な水分を排水し、適度な水分条件を保ちます。その為、過湿による藻類の発生や過度な乾燥を防ぎます。

2012.9.24



アースケア

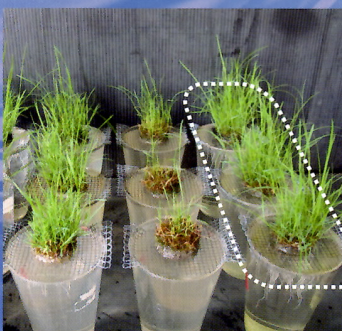
無処理

試験場所：(株)理研グリーン研究所 (ベントグリーン様管理圃場)
 処理日：2012年 6/11、7/10、8/10、9/7
 施用量：2ml/㎡、散布水量 1ℓ/㎡
 試験規模：2.5㎡ 2反復



高い安全性

一般的に浸透力が強い土壌浸透剤ほど安全性が低い傾向にありますが、アースケアは安全性を確保しつつ浸透力を最大に引き出す成分で構成されています。安全性については、室内試験および圃場試験で十分に検討を行いました。



A 剤

B 剤

アースケア



A 剤

B 剤

アースケア

＜地上部状態＞

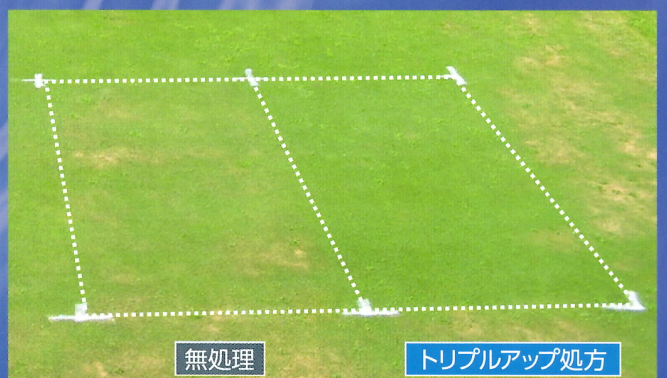
＜地下部状態＞

試験場所：(株)理研グリーン グリーン研究所
 試験期間：2012年 4/18～5/3
 浸透剤濃度：500 倍
 試験規模：3 反復



優れた総合力

アースケアは、確実な浸透、長期残効、適度な水分保持、高い安全性を有するだけでなく、作業性（泡立ち、溶解性など）にも考慮して設計してあります。また、農薬や肥料との相性も良く、体系処理による相乗効果（トリプルアップ処方）も期待出来ます。



無処理

トリプルアップ処方

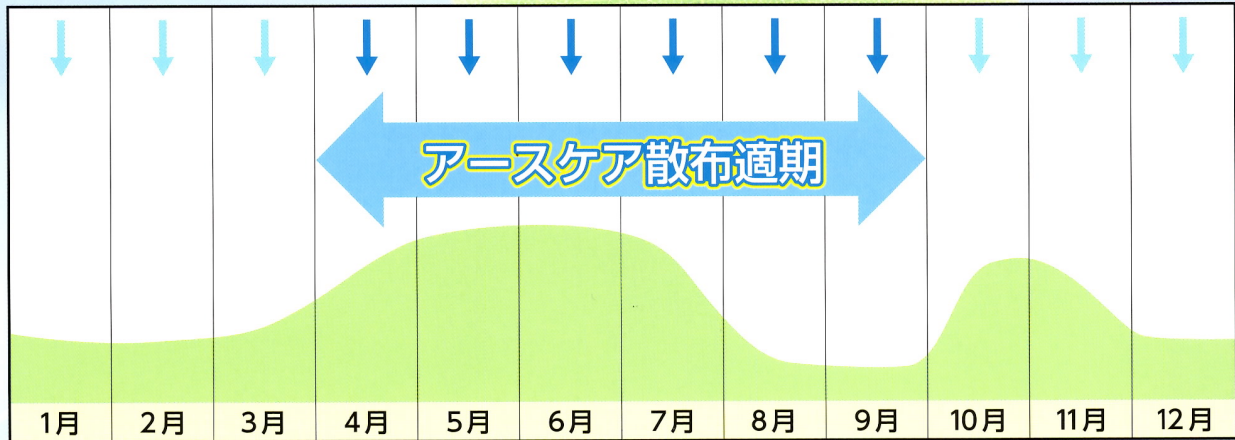
トリプルアップ処方によって夏越ししたベントグリーン

トリプルアップ処方とは？

土壌浸透剤、ケルプエキスおよび植物成長調整剤との体系処理で、根量、各種耐性、活力をアップさせ、夏季高温時のストレスに備える処方



使用タイミング



夏季のドライスポットやストレス対策には、春先からの定期的な散布が効果的（トリプルアップ処方）。
通年で使用は可能（冬季の乾燥およびドライスポットにも）。



上手な使用方法

使用場所	使用目的	希釈倍数 (施用量)	散布水量	散布間隔
日本芝 西洋芝	ドライスポットの 予防・軽減	250~1000 倍 (1~2mℓ / m ²)	0.5~1.0 ℓ / m ²	4~6 週間

使用量および散布水量は芝の状況やドライスポットの発生状況に合わせて調節して下さい。

- ・ 使い始めやドライスポット発生時（土壌の撥水性が高い場合）には 2mℓ / m²での使用をお勧めします。
- ・ 定期的な使用、撥水性が低い土壌の場合には 1mℓ / m²でも十分な効果を発揮します。
- ・ ドライスポットの治療には、散布水量 1ℓ / m²をお勧めします。

【注意事項】

効果を安定させるため、散布後に十分な散水を行い葉面に付着した成分を土壌へ落とすよう心掛けて下さい。
他剤と混用の場合は水量 1 ℓ / m²をお勧めします。また、初めての物は使用前にテストを実施して下さい。
夏季高温時には使用量および散布水量に注意し、高濃度での散布は控えて下さい。

製品規格

成分：非イオン系特殊界面活性剤等…100%
性状：無色～淡黄色透明粘性液体
引火点：水を含有するため測定不能
比重：1.04(20℃)
消防法：消防法危険物非該当
安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

安全に使用するために

1. 眼に入った場合は、直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、医師の処置を受けて下さい。
2. 容器は、換気の良い冷暗所で保管し、火気から遠ざける。
3. 散布器具、容器の洗浄水や残りの散布液は河川等へ流さない。空容器等は適切に処理する。

緑をつくり、育て、守る。

製造
販売元



株式会社 理研グリーン

〒110-8520 東京都台東区東上野 4-8-1 TIXTOWER UENO 8階
TEL.03-6802-8571 FAX.03-6802-8577 <http://www.rikengreen.co.jp>

札幌駐在 TEL.011-595-7401 FAX.011-595-7402 大阪支店 TEL.06-6871-1691 FAX.06-6871-1811
仙台支店 TEL.022-222-9599 FAX.022-267-6505 福岡営業所 TEL.092-752-8391 FAX.092-752-8392
東京支店 TEL.03-6802-8943 FAX.03-6802-8953 グリーン研究所 TEL.0538-58-1282 FAX.0538-58-1714
静岡支店 TEL.054-283-5555 FAX.054-284-1769 福田工場 TEL.0538-55-5108 FAX.0538-55-5104
名古屋支店 TEL.052-218-3060 FAX.052-218-3061

(株) 理研グリーン・パートナーショップ